



DCA/TDC 連携シンポジウム
 林業・設計・メーカー 3業界の連携

国産木材を活用した特注木製家具

「とまり木プロジェクト」シンポジウム



働楽庵 (hataraku - an) デザイン：小泉誠氏

杉やヒノキを中心とした国産材は、加工すると反りなどの狂いが生じやすいことから、建具や家具への利用がなかなか進んでいない。そうした中、注文家具分野における国産材利用を更に推進しようと、林野庁の支援を受けて、デザインコンサルタント、林業関係者、加工事業者、デザイナーと連携して、オフィス用の家具ユニットを製作して、展示会で発表するという取り組みが行われた。



SHARED-O (シェアード・オー) デザイン：川上元美氏

「とまり木プロジェクト」とは、以下の3つを目標とし、平成27年補として10月27日に発表された「とまり木プロジェクト」の概要と、同日に五反田の東京デザインセンターにて開催されたシンポジウムを取材した。シンポジウムでは、業界の垣根を超えて、特注の家具・建具の業界とデザイン業界が連携して、国産材の有効活用を促進するための事例紹介や意見交換が行われた。

とまり木プロジェクトとは